SDメモリーカードを使って登録ポイントの保存・読込をする

本機の登録ポイントを SDメモリーカードへ保存する

- 1 メニュー画面「データ」(P.28)から SD読込/保存を選ぶ
 - ●SDメモリーカード読込み/保存画面 が表示されます。
- 2 SDメモリーカードへ保存する を選ぶ
- 3 登録ポイントを選ぶ
- 4 はいを選ぶ
- 5 確認 を選ぶ
 - ●本機の登録ポイントが全て保存されます。
 - ●出力先フォルダ: IMEXPORT
 - ●保存されるファイル名: (日付_時刻).ptf例:20100601 120000.ptf
 - ●自宅は、自宅の登録ポイントとして 保存されます。

SDメモリーカード内の 登録ポイントを本機に読込む

SDメモリーカードへ保存した登録ポイント (左記)を本機に読み込みます。(拡張子 ptf)

- 1 SDメモリーカード読込み/保存画面 (左記)から SDメモリーカードから読込む を選ぶ
- 2 登録ポイントを選ぶ
- 3 登録ポイントのファイルを選ぶ
- 4 読み込む登録ポイントを選ぶ
 - 全ポイント読込: 全ての登録ポイントの読込
- 5 はいを選ぶ
- 6 確認 を選ぶ

お知らせ

- 登録済みのポイントを読み込むと、同じ地 点に複数のポイントが登録されます。不要 な場合は消去してください。
- ●保存日の古い順に登録ポイントを読み込みます。本機の登録件数が400件を超えると読み込みは中止されます。
- ◆本機ですでに自宅を登録済みの場合に、自宅として保存された登録ポイントを読み込むと、自宅としてではなく通常の登録ポイントとして読み込みます。
- 保存した登録ポイントに、表示できるマークがない場合は、♪で表示されます。
- ●別のナビゲーションで保存した登録ポイントのファイル(拡張子 pmf)も、SDメモリーカードの直下(ルートフォルダ)に保存すると、本機に読み込むことができます。

迂回したいエリアを登録する(迂回メモリー)

迂回メモリーを登録する

迂回したいエリアや地点を登録しておくと、そこを回避するルート探索ができます。 (最大10ヵ所まで)

- ●登録された迂回エリア/地点は、地図画面 上に (黄色の枠)/ で表示されます。
- ●ルートが設定されているとき(ルート案内中・ルート案内中止時)に迂回メモリーを登録すると、ルートを再探索します。

1 メニュー画面「データ」(P.28)から 迂回メモリー を選ぶ

- ●迂回メモリー画面が表示されます。
- 2 登録を選ぶ
- 3 迂回したいエリアを表示させる
 - ●検索のしかた→P.47~52
 - おでかけスポット

おでかけスポットから検索

- 現在地:現在地を表示
- 地図: 最後に表示していた地図を表示
- 4 決定を選ぶ
- **5** 広く/狭くでエリアを変更し、 決定を選ぶ
 - リモコン操作:
 - 焼 広く
- - 寒 狭く 寒 決定
 - ●エリアを最小にすると、 となり、 迂回地点として登録されます。
 - ●迂回メモリーのエリアは、 最大12.8 km×12.8 kmまでです。
 - 地図は、縮尺のみ変更できます。
- 6 完了 を選ぶ

お知らせ

- ●迂回エリア/地点の設定が「無効」(右記) の場合、ルート探索に考慮されません。
- ●下記の場合は、迂回メモリーを通るルートが探索されます。
- ・迂回メモリー内に自車や目的地がある。
- ・目的地までが一本道などで、迂回メモ リーを回避できない。
- ●迂回エリア内の高速道路は、迂回対象になりません。高速道路を迂回するルートを探索するには、エリアを最小(迂回地点)にして、高速道路上に設定してください。

迂回メモリーを消去する

一度消去するともとに戻せません。消去は 十分確認のうえ行ってください。

- 1 迂回メモリー画面(左記)から 消去 を選ぶ
- 2 迂回メモリーを選ぶ
 - 全消去:全ての迂回メモリーを消去
- 3 はいを選ぶ

迂回メモリー情報を修正する

- 1 迂回メモリー画面(左記)から 修正 を選ぶ
- 2 迂回メモリーを選ぶ
- 3 項目を選び、修正する

	設定項目	操	作	
	ルート探索に考慮 させる(有効)/ させない(無効) を選ぶ)/ 有効 / 無効 を選ぶ		
	名称を入力する	名称を選ぶ	名称を入力し、 完了 を選ぶ ● 全角35文字 (半角70文字) まで ● 文字入力の しかた →P.183	
	名称を地図上に表示する/ しないを選ぶ	する / しない	を選ぶ	
	場所を 変更する	位置を選ぶ	変更したい位置に スクロールさせ、 決定 を選ぶ	
	迂回エリアを 変更する	迂回エリア変更 を選ぶ	広く / 狭く で エリアを変更し、 決定 を選ぶ	

4 完了を選ぶ

70